

アルミニウム合金製可搬式作業台

# SGペガ500

## 取扱説明書

(社) 仮設工業会認定品

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして  
ありがとうございます。

この取扱説明書は、本品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。

また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取りだせる所へ大切に保存してください。



- アルミニウム合金製可搬式作業台「SGペガ500」は、正しく使われないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、本製品の安定した状態を確認してください。

- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

# もくじ

表示マークについて	2
各部の名称及び仕様	3
延長脚調節の伸縮機能について	4
安全のために、必ず守っていただきたいこと	5
1. 使用条件について	5
2. お使いになる前に	6
3. 運ぶときは	6
4. 設置する場所について	6
5. 使用状態にするとき	7
6. 設置状態について	8
7. 昇り降りや作業をするとき	8
ご使用前の点検（日常点検）	10
<本体の点検>	10
1. 目で見て点検	10
2. 延長脚と、延長脚伸縮装置の点検	10
3. 觸って点検	11
4. 主脚を開閉して点検	11
5. 手がかり棒を開閉して点検	11
SGペガ500の使いかた	12
1. 組立てかたとたたみかた	12
2. 延長脚の伸ばしかたと縮めかた	14
3. 昇りかた、降りかた、作業のしかた	15
4. 手がかり棒の使いかた	15
故障かな？と思ったら（不調診断）	16

# 表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている  
マーク付きの説明は、安全上特に、重要な項目ですから、必ずお守りください。

## 危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

## 警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

## 注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。  
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

### <絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。



#### 感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを注意しています。



#### 手をはさまないよう注意

主脚を開閉するときに、可動部や回転部などで手をはさむ恐れがあることを注意しています。



#### 背面降り禁止

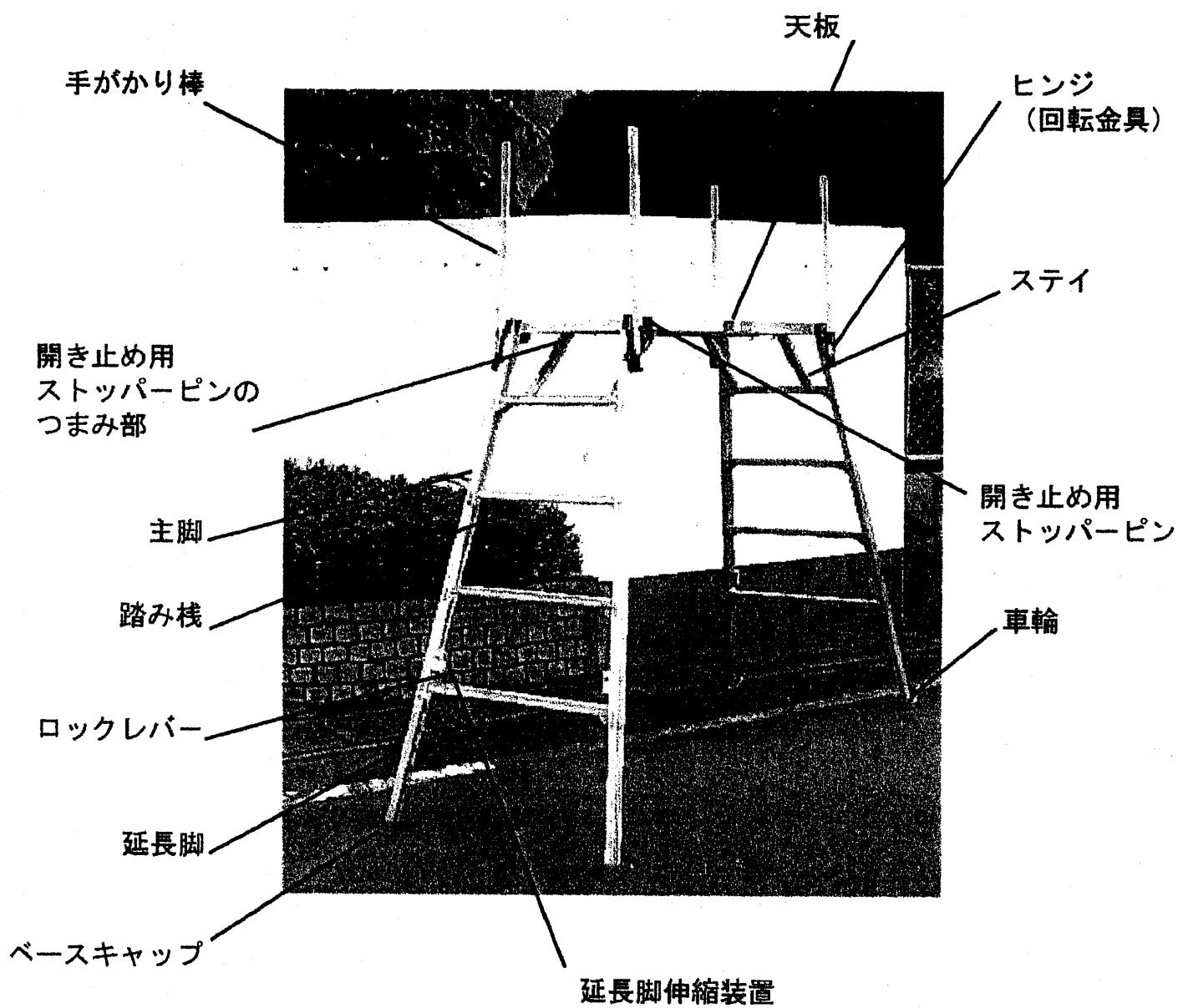
天板から降りる時、背面降りすると身体が不安定になり、足を踏み外して転落する恐れがあることを注意しています。



#### 延長脚のロック確認忘れに注意

延長脚をロックしていないと、延長脚が縮んで作業台から転落する恐れがあることを注意しています。

# 各部の名称及び仕様



型式	垂直高 (mm)	天板 (mm)		配置スペース (mm)		質量 (kg)	最大使用荷重
		長さ	幅	W	D		
SG-S	620~820	765	500	645~694	1226~1333	11.0	150kgf (1470N)
SG-MS	720~1050	765	500	670~755	1280~1458	11.7	150kgf (1470N)
SG-M	720~1050	1545	500	670~755	2060~2238	16.0	150kgf (1470N)
SG-L	1200~1600	1545	500	792~894	2317~2531	22.7	150kgf (1470N)
SG-LL	1350~1750	1545	500	830~932	2397~2612	23.5	150kgf (1470N)

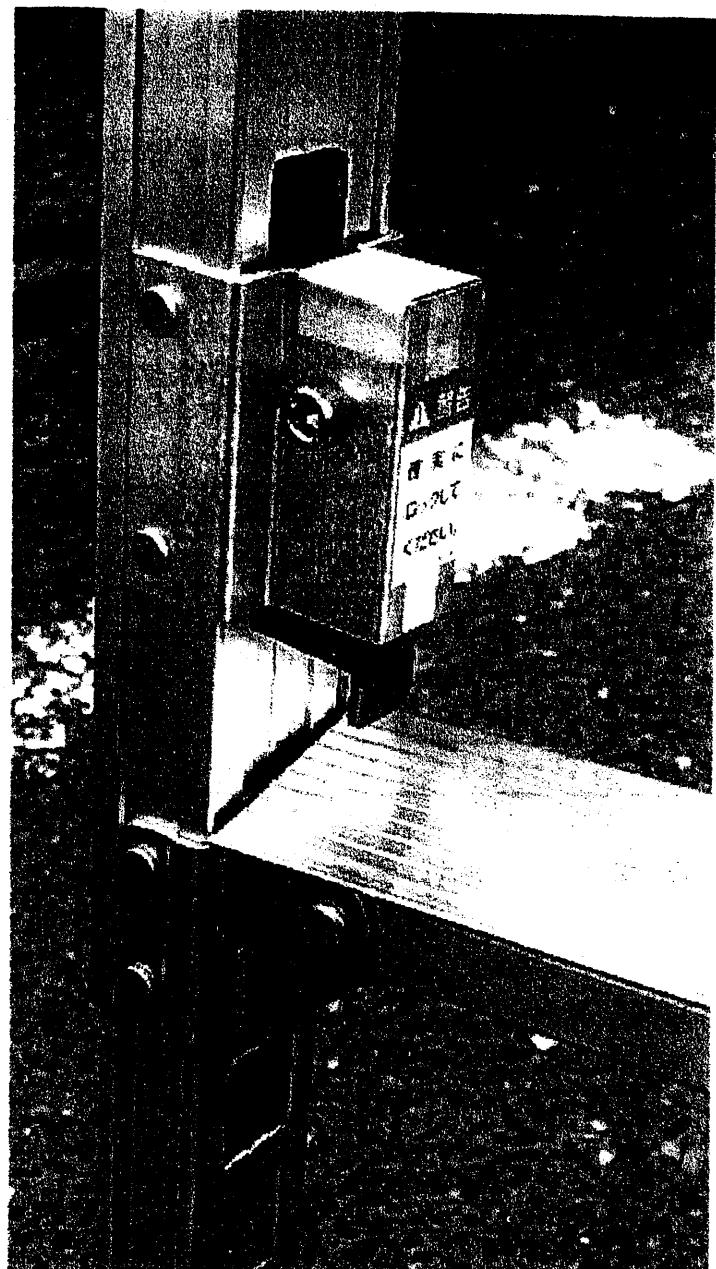
# 延長脚調節の伸縮機能について

スプリングの押す力によって延長脚がロックされ、ロックレバーを引くと、延長脚が伸びてきます。  
手を離せば自動的にロックされます。

※念のためロックした後、延長脚が滑らないか確認してからご使用ください。

尚、延長脚を縮める場合は、荷重が掛かっていると作動しない構造になっていますので、延長脚を少し浮かせて、ロックレバー操作を行ってください。

天板に人及び荷を載せたまま、操作をしないでください。必ず天板上に何ものっていないことを確認した上で、伸縮操作を行ってください。



# 安全作業のために、必ず守っていただきたいこと。

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

## 1. 使用条件について

⚠ 警告 SGペガ500としての用途以外の使いかたをしないでください。

SGペガ500は、建築物等の天井又は壁面等の作業に使用する為の足場として作られたものです。

⚠ 警告 使用荷重は下記の荷重を守ってください。

体重が、使用荷重を超える人や、体重と荷物の合計重量が使用荷重を超えるときは、使わないでください。

ただし、荷物は身体の安定が保てる程度の大きさにしてください。

⚠ 警告 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

- 疲れているとき
- 薬やお酒を飲んだとき
- 病気や妊娠しているとき
- 身体に異常を感じるとき

身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。



⚠ 警告 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。

⚠ 警告 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読みなくなったりした製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。



# 安全作業のために、必ず守っていただきたいこと。

⚠ 警告 作業に適した服装で使ってください。

作業を行う際は、必ずヘルメット・安全靴等の安全具を着用し、正しい服装（作業服）で作業を行ってください。

⚠ 警告 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で、特に重要なことが書かれていますのでよく理解のうえ使うように指導してください。

## 2. お使いになる前に

⚠ 警告 使う前には、必ず「ご使用前の点検（10、11ページ参照）」を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告 変形したSGペガ500を使わないでください。



## 3. 運ぶときは

⚠ 警告 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落する恐れがあります。

⚠ 注意 持ち運ぶときは、引きずったり投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やヘコミ・破損の原因になります。  
主脚をたたんで運ぶか、車輪を使って移動してください。

## 4. 設置する場所について

⚠ 危険 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

⚠ 警告 人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、SGペガ500が倒されて転倒や転落の恐れがあります。



⚠ 警告 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。

濡れた踏み棧や天板上で滑ったり、強い風を受けて身体のバランスを崩して、転倒や転落の恐れがあります。

# 安全作業のために、必ず守っていただきたいこと。

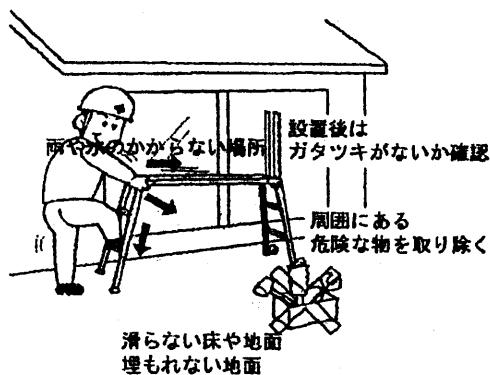
⚠ 警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

⚠ 警告 作業台の水平を確保できない、また、安定しないときは使用しないでください。

- 滑りにくい地面や床、また埋もれない地面を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- SGペガ500の周囲に危険な物がなくバランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 床の凹凸、開口部による事故のないように注意してください。
- 設置後は、ガタツキがないか確認し、ある場合は、延長脚を調整してガタツキを取り除いてください。

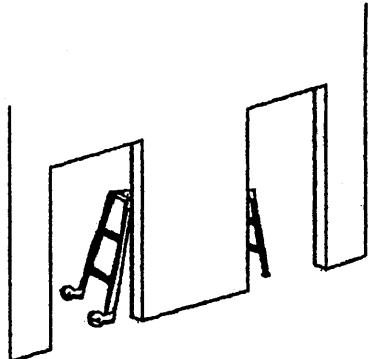
(4ページ延長脚調節の伸縮機能について参照)



## ⚠ 注意

- 人が通行する場所に設置するときは、通行する人が車輪を踏んだり、つまづいたりしないよう設置場所に十分注意してください。  
車輪を踏んだり、つまづいたりして転倒の恐れがあります。

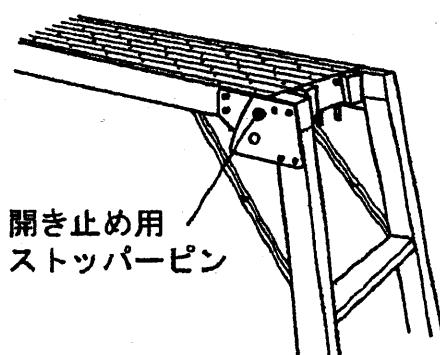
- SGペガ500に昇り降りするときに車輪を踏んだりしないように注意してください。



## 5. 使用状態にするとき

⚠ 危険 両側の開き止め用ストッパーピンが確実にロック部で固定していることを確認してください。

開き止め用ストッパーピンの掛けりが不十分で使うと主脚が折りたたまれ、転落事故の恐れがあります。



⚠ 警告 主脚を開くときは、ヒンジ（回転金具）の回転部で、手をはさまないように注意してください。  
けがをするおそれがあります。

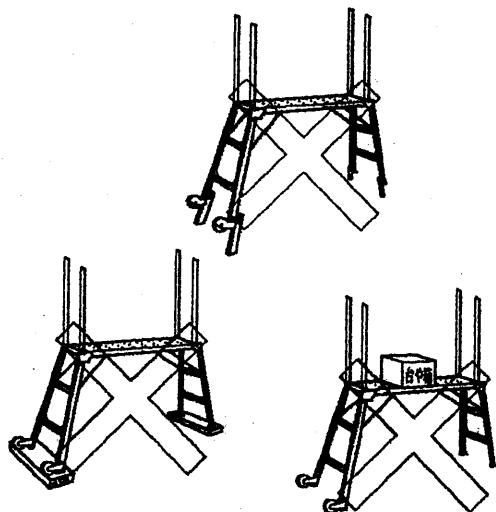


# 安全作業のために、必ず守っていただきたいこと。

## 6. 設置状態について

⚠️警告 高くするために、SGペガ500にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。又、天板の上に、台や箱などを乗せたりしないでください。

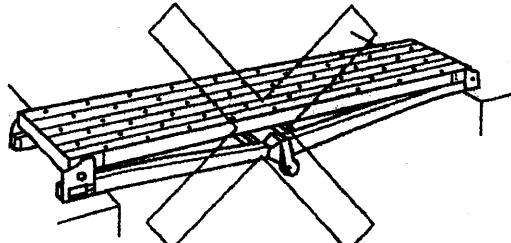
つなぎ目が折れたり、台や箱などが移動して、転倒や転落事故を起こす恐れがあります。



天板が必ず水平となる状態で設置してください。また、傾斜地での使用はしないでください。

⚠️警告 SGペガ500を水平にして、足場板として使わないでください。

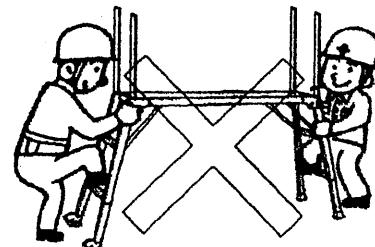
段差によるつまづきと、支持部の外れによって転倒や転落事故を起こす恐れがあります。



## 7. 昇り降りや作業をするとき

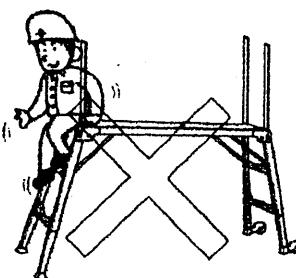
⚠️警告 同時に2人以上乗らないでください。

SGペガ500が不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。



⚠️警告 SGペガ500を背にしたり、手放して上り下りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落する恐れがあります。

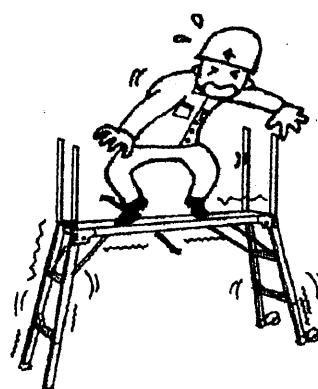


手がかり棒を持ち昇り降りしてください。

⚠️警告 SGペガ500から横に身体を乗り出して作業をしないでください。

身体を乗りだすとバランスをくずし、転落する恐れがあります。

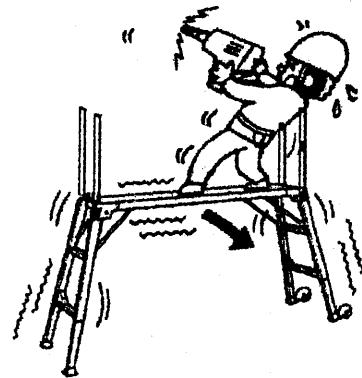
⚠️警告 局部に荷重をかけないでください。



# 安全作業のために、必ず守っていただきたいこと。

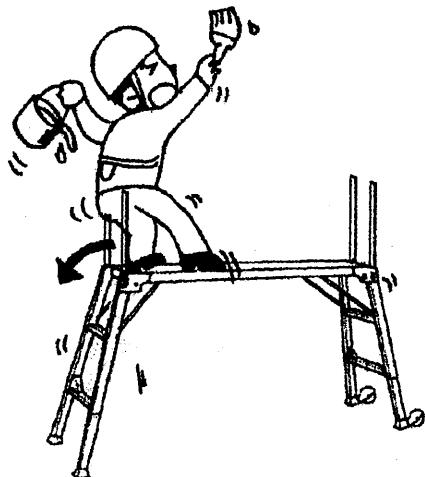
⚠ 警告 荷物を持って昇り降りしないでください。

バランスをくずし、転落や転落する恐れがあります。



⚠ 警告 二つのSGペガ500の間に、市販品の足場板をかけて使わないでください。

足場板が滑り天板や踏み棧よりはずれ、転倒や転落事故の恐れがあります。

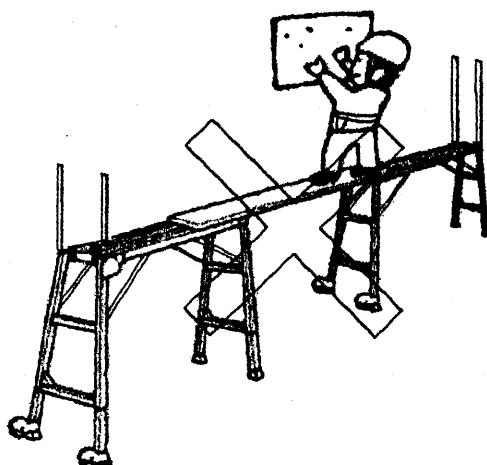


⚠ 警告 静かに昇り降りし、天板、踏み棧から飛び降りしないでください。

降りるときは、最下段の踏み棧まで使って静かに降りてください。

⚠ 警告 作業中天板の上で壁やものを無理に押したり、引いたりしないでください。

無理に押したり、引いたりすると、反動でSGペガ500が不安定になって横転しやすくなります。



\*作業面積を大きくして使用する場合は専用の「ブリッジ」を使用してください。

⚠ 警告 上向き作業中、天板面からの踏み外しに、注意してください。踏外し防止感知した場合、それ以上踏み出さないでください。

⚠ 警告 階段で使用するときは、必ず天板の水平度を確認してください。

⚠ 警告 天板の上で脚立・はしごを使用しないでください。

⚠ 警告 荷を乗せたままSGペガ500を移動しないでください。

⚠ 警告 SGペガ500より他への乗り移りはしないでください。

⚠ 警告 踏み棧の上で作業をしないでください。

⚠ 警告 SGペガ500を加工、改造して使用しないでください。

⚠ 警告 昇降用踏み棧の上で作業はしないでください。

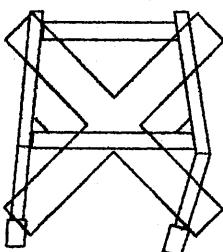
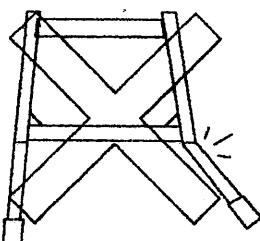
# ご使用前の点検（日常点検）

本品をお使いになる前には、下記の点検を行  
い異常のないことを確認してください。  
また、異常に対して処置のできるものは、正し  
い処置をした後に使用してください。

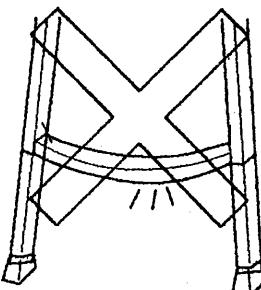
## 〈本体の点検〉

### 1. 目で見て、下記の点検をして ください。

- ① 踏み棧、天板にグリース・油・泥・雪・水  
ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに  
拭きとつてください。
- ② 主脚に曲がり・ネジレ・ヘコミがありますか。ある場合は、絶対に使わないでください。
- ③ 延長脚に図のような曲がりがありませんか。  
ある場合は、絶対に使わないでください。



- ④ 踏み棧に曲がりがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。



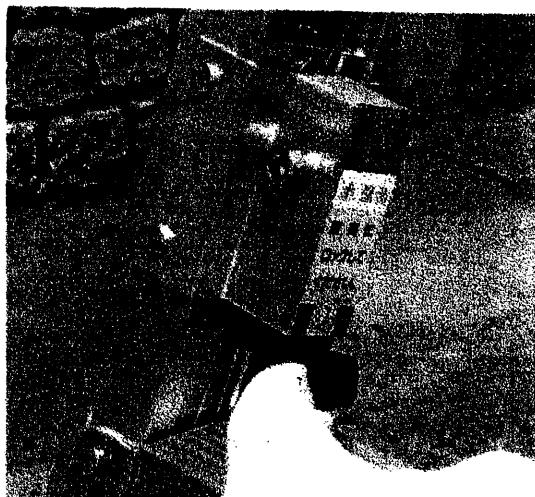
- ⑤ 天板に曲がり・ヘコミがありませんか。  
ある場合は、絶対に使わないでください。
- ⑥ 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食  
がありませんか。また、取り付け部品の  
破損・脱落・変形・磨耗・いちじるしい  
腐食がありませんか。ある場合は絶対に  
使わないでください。

⑦ リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。

⑧ ベースキャップがすり減ったり、外れたりしていませんか。している場合は、絶対に使わないでください。

### 2. 延長脚と延長脚伸縮装置の点検をしてください。

- ① 延長脚の角孔部に泥・ペンキ・モルタルなどがついていないか確認し、ついている場合は完全に取り除いてください。  
取れない場合は絶対に使わないでください。
- ② 延長脚の角孔に凍結や雪で目づまりをしていないか確認し、目づまりをしている場合は完全に取り除いてください。  
取れない場合は絶対に使わないでください。
- ③ 延長脚の角孔部に割れ・キレツがないか又は、凹んだりしていないか確認し、ある場合は絶対に使わないでください。
- ④ 延長脚伸縮装置のロックレバー操作がスムーズに動くか確認し、動かない場合は絶対に使わないでください。
- ⑤ 延長脚がスムーズに動くか確認し、動き悪い場合は主脚と延長脚の間のどろ・砂が等の異物を完全に取り除き、主脚と延長脚の間に潤滑スプレーを注油してください。それでも動きが悪い場合は絶対に使わないでください。



# ご使用前の点検（日常点検）

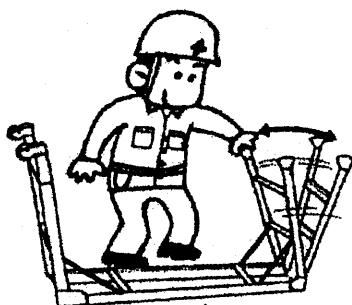
3. 下記の箇所を触って点検をしてください。

- ① 各段の踏み棧をねじってみて、ガタガタしていないか点検してください。  
ガタガタしている場合は、絶対に使わないでください。

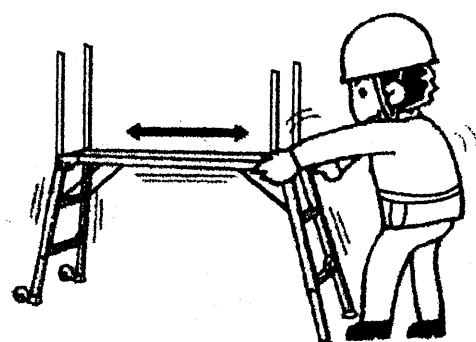


4. 主脚を開閉して、下記の点検をしてください。

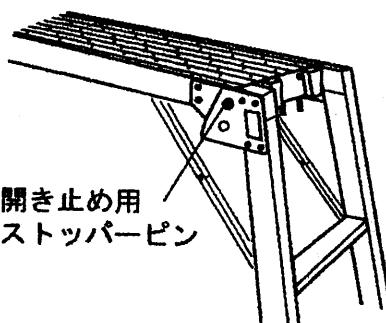
- ① スムーズに開閉できますか。  
スムーズに開閉できないときは、左右のヒンジ(回転金具)に泥やセメント・ゴミ等の噛み込みがないか点検しあれば取り除いてください。



- ② 左右のヒンジ（回転金具）のゆるみや、ガタツキがありませんか。  
ガタツキがあるときは、ヒンジ（回転金具）のゆるみや外れが考えられますので、絶対に使わないでください。



- ③ 左右の開き止め用ストッパーが確実にロック部で固定できますか。  
できないときは、絶対に使わないでください。



5. 手がかり棒を開閉して下記の点検をしてください。

- ① 手がかり棒はスムーズに組立・折畳みができますか。  
② 手がかり棒は確実にロックできますか。  
できない場合は絶対に使わないでください。  
③ 手がかり棒に曲がり・ネジレ・ヘコミがありますか。  
ある場合は絶対に使わないでください。  
④ リベットのゆるみ、抜け落ちがありますか。  
ある場合は絶対に使わないでください。

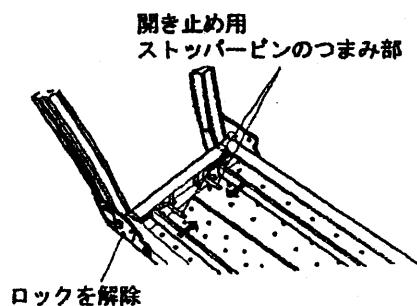
# SGペガ500の使いかた

組立手順を遵守しないと死亡や重大な事故  
製品の破損が生じる恐れがあります。

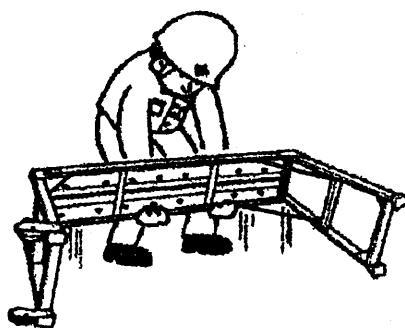
## 1. 組立てかたとたたみかた

<組立てるとき>

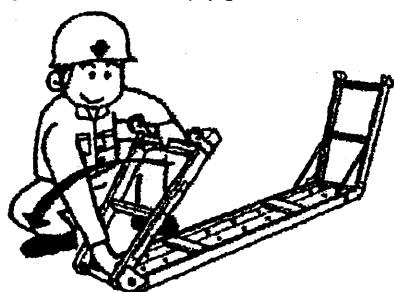
- ① 支柱を折りたたんだ状態のまま、床面に静かに寝かせてください。
- ② 左右の開き止め用ストッパーのつまみ部を内側によせロックを解除します。



- ⑤ 天板部を上に持ち上げながら使用状態におこします。



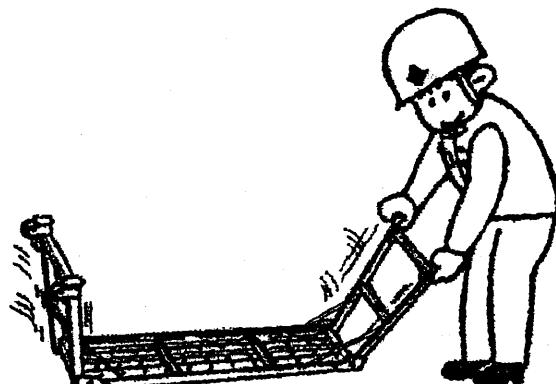
- ③ 上側の踏み棧をもって、いっぱいまで開きます。  
開き止めストッパーが確実にセットされているか確認してください。



- ⑥ 後述<ステイの使いかた>の説明にしたがって、ステイをロックしてください。

- ⑦ SG-L, SG-LLは手がかり棒を必ずセットしてください。

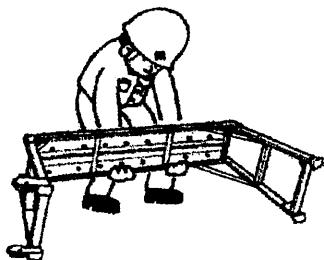
- ④ 開いた主脚の上部を持って静かに横に倒しておきます。  
開きます。



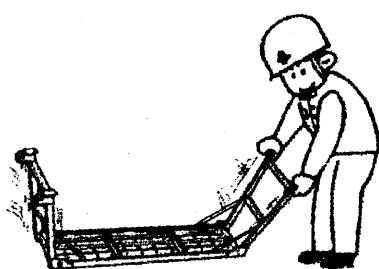
# SGペガ500の使いかた

## <たたむとき>

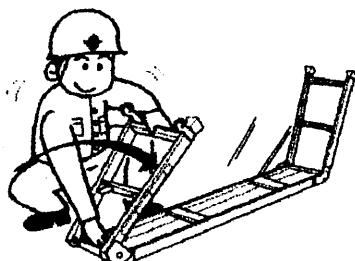
- ① 手がかり棒収納後天板を手前に倒しながら横に寝かせます。



- ② 開いた主脚の端部を持って、天板が下になり、主脚が上に向く様に引き起こします。  
③ 後述の<延長脚の伸ばしかたと縮めかた>の説明にしたがって延長脚を縮めてください。



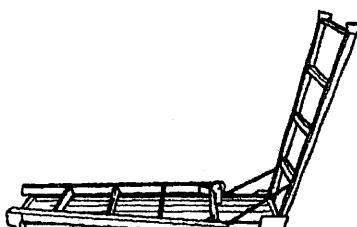
- ④ 後述の<ステイの使いかた>の説明ににしたがってステイのロックを解除します。  
⑤ 左右の開き止め用ストッパーインのつまみ部を内側によせロックを解除します。  
⑥ 上側踏み棧を持って、主脚を内側にたたみます。  
※手を挟まないように注意してください。



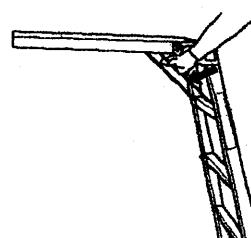
## <ステイの使いかた>

(使用状態にするとき)

- ① 天板を下にし、主脚を開くとステイも自動的に開きます。さらに開き止めストッパーインもロックされます。

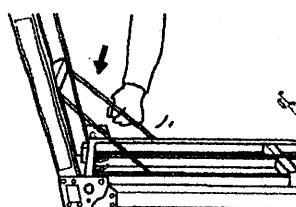


- ② 天板を上側に起こした後下図の様にステイの↓位置を上から押させて金具を一直線にします。  
※ステイは4本共セットしてください。



(収納するとき)

- ① 収納は天板を下に寝かせ、下図のように↓位置を上から押さえます。  
※手を挟まないように注意してください。



- ② 開き止め用ストッパーインのロックを解除して主脚を折りたためばステイも自動的に収納できます。

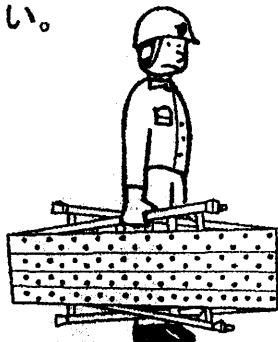
## ⚠ 注意

ステイを押さえ、主脚を折りたたむときに手を挟まないように注意してください。

# SGペガ500の使いかた

## <移動のしかた>

- 移動は引きずらずに主脚をたたんで運んでください。



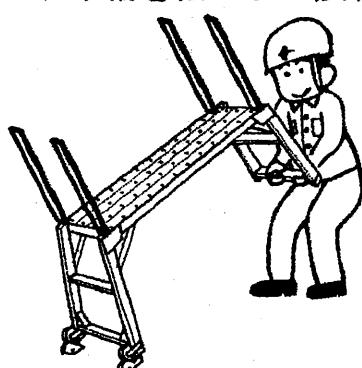
※延長脚は必ず縮めてください。

延長脚の破損・曲がりの原因になります。

※移動するときは、ベースキャップを引きずらないでください。

## <車輪の使いかた>

- ① 延長脚を縮めてください。
- ② 車輪のないほうの最下段の踏み棧を持ち上げ、車輪を転がして移動します。

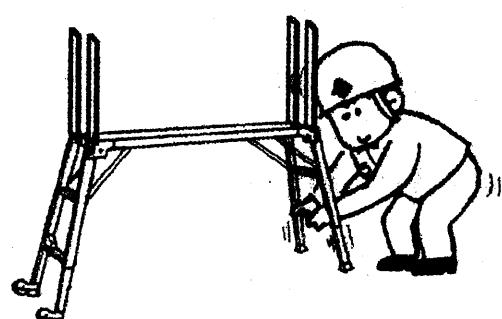


- ③ 凸凹の地面の車輪での移動は破損、する恐れがありますので使わないのでください。

## 2. 延長脚の伸ばしかたと縮めかた

### <伸ばしかた>

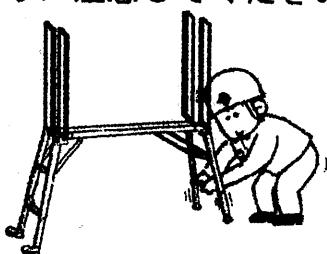
- ① 最下段の踏み棧を下から手で少し上に持ち上げます。



- ② ロックレバーを引くと、延長脚が伸びてきます。
- ③ 長さが良いところでロックレバーより、手をはなすと伸縮脚がロックされます。
- ④ そのままSGペガ500を地面に設置してください。
- ⑤ SGペガ500の天板が水平に設置されているか、また、接地面とSGペガ500にガタツキはないか確認してください。ある場合は①～④を繰り返し調整をしてください。
- ⑥ 最後に目視にて、ロックレバーが延長脚の角孔部にロックしているか確認してください。

### <縮めかた>

- ① ロックレバーに指がとどく最下段の踏み棧端部を下から片手で少し上に持ちあげます。  
※この時、片側の延長脚は地面につけて今まで、SGペガ500が倒れないように注意してください。



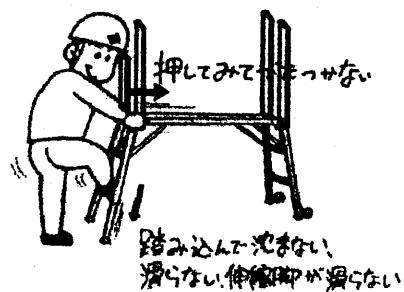
- ② ロックレバーを引き、片手で延長脚を持って縮めてください。  
踏み棧端部を下から片手で少し上に持ちあげます。  
※この時、片側の延長脚は地面につけて今まで、SGペガ500が倒れないように注意してください。



# SGペガ500の使いかた

## 3. 昇りかた・降りかた 作業のしかた

- 昇る前に、必ず延長脚と開き止め用ストッパー及びステイが確実にロックされていることを確認してください。



- 安全靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 上向き作業中に「踏み外し防止」を感じた場合、それ以上踏み外さないでください。

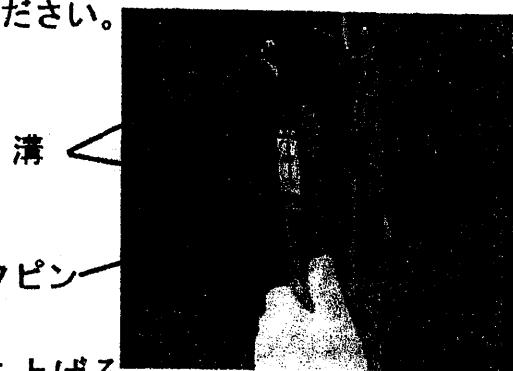


- 身体の前面を昇降面に向け、両手・両足を使って慎重に昇り降りしてください。
- SG-L、SG-LLの場合は手がかり棒をセットし、手がかり棒をもしながら慎重に昇り降りしてください。
- 荷物があるときは、背中に背負う等して、両手を使えるようにしてください。
- 降りるときは、1段ずつ踏み棧に足を掛け、最下段の踏み棧まで使って慎重に降りてください。
- 作業中に移動するときは、地上に降りて移動してください。

## 4. 手がかり棒の使いかた

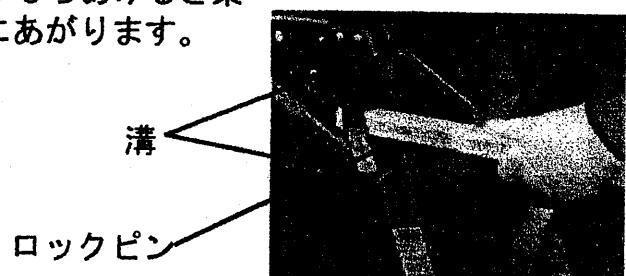
### ① 下に引っ張る

ロックピンが溝から離れていることを確認してください。



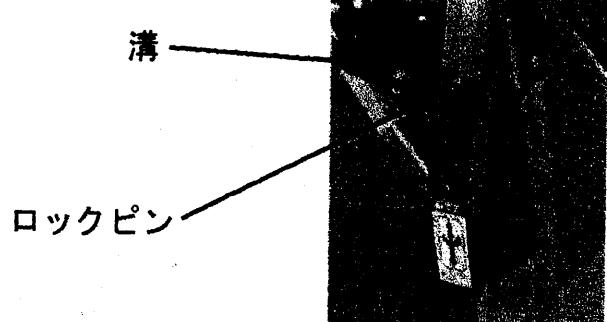
### ② 上に持ち上げる

引っ張りながら上にもちあげると楽にあがります。



### ③ ロックする。

ロックピンが溝に入っている事を確認してください。



※作業床1.5m以上は手がかり棒を必ず使用してください。

※収納の際は、組立てと逆の手順になります。

# 故障かな？と思ったら（不調診断）

＜現象＞ ●使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
主脚と踏み棧の接合部にゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。
主脚とヒンジ（回転金具）の接合部に、ゆるみやガタツキはありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。

＜現象＞ ●開き止め用ストッパーインが確実にロックできない。

●ステイが確実に掛からない。●主脚がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置のしかた
開き止め用ストッパーイン及びステイが、変形していませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。
ストッパーイン、ロック部の機能がそこなわれるような破損や変形、サビがありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。
主脚やヒンジ（回転金具）に変形がありますか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。
ヒンジ（回転金具）がサビ付いていませんか。	ある場合は回転部に注油してください。 機能がそこなわれるようないちじるしいサビがある場合にはつかわないでください。

＜現象＞ ●大きくガタガタしている。

点検する箇所	処置のしかた
全体が大きく変形していませんか。	曲がったものは使わないでください。廃棄してください。
主脚、踏み棧及び天板に、曲がりヘコミなどの変形はありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。

# 故障かな？と思ったら（不調診断）

＜現象＞ ●折りたたんだとき、あわされる脚に大きなズレがある。

点検する箇所	処置のしかた
収納時にしたとき、ヒンジ（回転金具）の変形や主脚の曲がりはありませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。
ヒンジ（回転金具）を止めているリベットがゆるんだり外れたりしていませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。

＜現象＞ ●延長脚が動かない。

点検する箇所	処置のしかた
延長脚が曲がっていませんか。	曲がったものは使わないでください。廃棄してください。
延長脚と主脚の間に泥、砂、ペンキ、モルタル小石が付着していませんか。	異物を完全に取り除き、主脚と延長脚の間に機械油、潤滑油スプレーを注入し、それでも動きが悪い場合は廃棄してください。
延長脚と主脚の間が凍結していませんか。	

＜現象＞ ●延長脚がロックできない。

点検する箇所	処置のしかた
延長脚の角穴部に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石が付着していませんか。	角穴部の目づまり（異物）を完全に除去してください。 又、取れない場合は使わないで廃棄してください。
伸縮脚の角穴部に凍結や雪による目づまりしていませんか。	
延長脚の角穴形状が欠けたり、かどが磨耗又は凹んだりしていませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄してください。

＜現象＞ ●延長脚伸縮装置のロックレバーが動かない。

点検する箇所	処置のしかた
延長脚伸縮装置部に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石がはいりこんでいませんか。	ある場合は異物を完全にとり除きロックレバーに潤滑油をスプレーしてください。

製品に異常があった場合、自分の判断で手直しや補修は絶対にしないでください。  
一度変形した本体や金具は、著しく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の  
破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

●発売元

ジーオーピー株式会社

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿 1-8-5 (東洋ビル7A)

TEL 03-5449-1931

※この取扱説明書の、無断転用を禁じます。

R-434